

# インテリアのスケールバランス

## (配置のバランス)

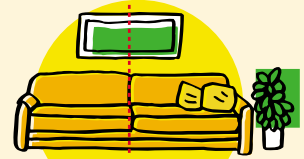
春の陽気が嬉しいこのごろは、何だかからだも軽く感じます。  
インテリアセンスを発揮したい方には絶好の季節でしょう。

でも、何かもうひとつうまくいかないと思われる方は配置の「バランス」の悪さに原因があるのかもしれませんが。  
バランスの基本1回目の今回は「大きさ」について考えます。

### 大きさのバランスを考える

インテリアコーディネートでまず大切なのは、数多くの色やかたち、大きさのものをいかにバランスよく配置するかということです。今回取り上げたスケールとは、ものの大きさや容量感のことで、部屋に配置した家具の存在感が大きすぎたり、何かおさまりの悪い印象を与えたりする場合は、それが部屋の大きさにそぐわないサイズだからということも実は多いのですが、それとは別に、他のインテリア

とのスケールバランス(複数のものを組み合わせさせて配置したときの大きさや容量感のバランス)の悪さが原因ということも考えられます。たとえばソファの上に掛けた絵が、ソファの大きさに対して極端に大きすぎたり重厚感がありすぎたり、また逆に小さすぎたりする場合や、ソファの左右どちら側かにもものが集まって重たい印象になっている場合などがあり、いずれも落ち着かない印象を与えます。

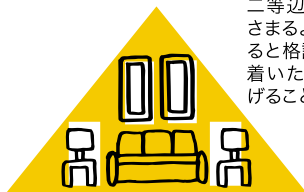


大きな絵の場合は下に位置する家具と中心をあわせ、1枚で飾ります。



小さい絵を飾る場合はグルーピングし、家具とのスケールバランスをとります。

### ●シンメトリー(左右対称)



二等辺三角形におさまるように配置すると格調高く、落ち着いた印象に仕上げることができます。

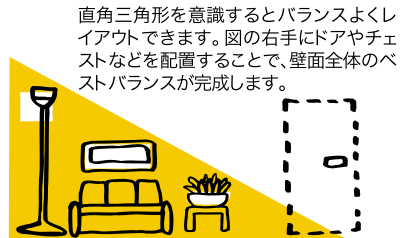


ボードの上を飾る場合も三角形にまとめると、美しく見せることができます。

### 三角形を意識した配置

バランスの基本にはシンメトリー(対称形)とアシンメトリー(非対称形)の考え方があり、ゴシック建築に代表されるシンメトリーには落ち着きや重厚感が、書院造りや茶室のような

### ●アシンメトリー(左右非対称)



直角三角形を意識するとバランスよくレイアウトできます。図の右手にドアやチェストなどを配置することで、壁面全体のベストバランスが完成します。

アシンメトリーには動きがあって日本人らしい美意識を反映させることができます。またまりのよい配置のコツは、三角形を意識すること。家具を置いた床を底辺として、シンメトリーなら二等辺三角形に、アシンメトリーなら直角三角形におさまるように配置するとベストバランスになります。小さなものはボリュームに欠けるので、スケール感を出したい場合は寄せ集めてグルーピングするといいでしょう。気をつけたいのは、同じ大きさのものでも色やデザイン、奥行き等でスケール感が変わってくる。部屋の大きさという全体のスケール感をもっとも重要です。

次号「バランスの基本②」では、部屋に絵画やピクチャーフレームなどのアートを飾る場合の基本とコツをご紹介します。